

令和3年度 県学力・学習状況調査から 美作市立土居小学校

※結果分析(全国の平均と比べて ○できている ●できていない)

〈学力調査〉

【国語】

3年 ○話し手が知らせたいことを聞き取ることが、全国平均より 14.1 ポイント高いです。

●相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えることが、全国平均より 40.7 ポイント低いです。

4年 ○情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見つけて要約することが、全国平均より41.0ポイント高いです。

●読むこと分野で、叙述を基に段落の内容を捉えることが、全国平均より 20.9 ポイント低いです。

5年 ○漢字辞典の使い方を理解していることが、全国平均より18.0ポイント高いです。

●ことわざの意味を知り、正しく使うことが、全国平均より32.7ポイント低いです。

【算数】

3年 ○1時間=60分の関係の理解が、全国平均より 23.8 ポイント高いです。

●もとの大きさの $\frac{1}{4}$ の大きさの意味の理解が、全国平均より 48.9 ポイント低いです。

4年 ○あまりを切り上げて処理する問題ができ、その理由を説明することが、全国平均より 43.7 ポイント高いです。

●文章問題をとくための除法の式を選ぶことが、全国平均より 24.6 ポイント低いです。

5年 ○基準量を求める除法の文章問題を表した図を選ぶことが、全国平均より 20.0 ポイント高いです。

●直方体のある辺に平行な辺を理解することが、全国平均より 28.2 ポイント低いです。

〈学習状況調査〉 ※ポイントは「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合を全国と比較したものです。

5年

○	放課後など、授業時間以外に先生から勉強を教えてもらうことがあった。	+64.4	ポイント
○	授業で、コンピューターなどのICT機器をよく使用した。	+47.9	ポイント
○	学習では、答えの理由が分からなくても問題のやり方を覚えればよいとは思わない。	+31.6	ポイント
○	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。	+27.2	ポイント
○	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明し足り、文章に書いたりすることは難しいと思わない。	+27.0	ポイント
○	学習したことが自分の生活に役立っている。	+25.4	ポイント
○	学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていたと思う。	+21.1	ポイント
○	自分で計画を立てて勉強をしていた。	+21.1	ポイント
●	自分が住んでいる地域の人が好きである。	-20.3	ポイント
●	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていた。	-16.0	ポイント
●	地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがあった。	-15.3	ポイント

〈学校としての対応・目標〉

- ◎「土居小タイム(放課後学習)」を毎日設け、国語や算数の基礎基本と共に、発展問題にも取り組みます。
- ◎授業では、自力解決やペア・グループ学習の時間を設定し、互いの考え方を伝え合うことで、考え方が深まるようにしていきます。
- ◎読書では、自分の思いや願いを大切にしてお本を選び、一人読みと共に親子読書の推進に努めます。
- ◎「漢字検定」「計算検定」を各学期末に実施して、基礎基本の定着を図ります。
- ◎家庭と連携し、「家庭学習の手引き」「家庭学習がんばりカード」を活用して「10分×学年+10分」の家庭学習を児童が主体的にできることを目指します。
- ◎携帯電話やスマートフォン、タブレットなどに使い方について、学級指導を行ったり、学級懇談や人権PTAなどで保護者の方と共に考える機会を持ったりして、よりよい使い方ができるように取り組みます。

以上のような学校の指導意図をご理解いただき、ご家庭でもご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。